



静岡市都市山麓グリーンベルトで保育園児とタケノコ掘りを実施しました。 (主催 NPO森と水辺を育てる会 等)

静岡土木事務所

平成27年4月17日(金)に静岡市都市山麓グリーンベルト内：大内モデル地区の杉谷津沢(すぎやつさわ)の斜面(清水区大内)において、こども園園児とNPO「森と水辺を育てる会」等によるタケノコ掘りを実施し、約35名が参加して土砂災害を防ぐ里山づくりを推進しました。

【参加者】

NPO「森と水辺を育てる会」
静岡市立清水有度北こども園年長児等

【参考】静岡市都市山麓グリーンベルトの概要

土砂災害危険箇所が366箇所と集中している静岡市賤機山から興津川までの東西12kmの市街地北側山麓を都市グリーンベルト整備区域とし、そのうち竹林の拡大が著しい清水区大内地区をモデル地区に指定し、静岡県とNPO「森と水辺を育てる会」との間で協定を結び、土砂災害の防止、無秩序な市街地化防止、都市景観の保全・創出を目指し、樹林帯の整備を行っています。

タケノコ掘りの様子



問い合わせ先

静岡土木事務所企画検査課
電話番号 054-286-9321



いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部